

カーブドッヂ迎賓館

カフェ&ショップが4月下旬オープン！

新しい令和の時代、オリンピックを目前にして多くの参観者で賑わう迎賓館赤坂離宮。その正門前に、休憩・観光案内の機能を備えた新たな施設が完成します。そして、この施設内に飲食店として「カーブドッヂ迎賓館」カフェがオープンします。

水盤を囲んだガラス張りの明るい空間で、ランチやお茶を楽しみながら参観の余韻に浸るお客様が増えることでしょう。併設のギフトショップでは、カーブドッヂワインの販売をはじめ、日本の高品質なブランドとコラボし、どこか日本の様式を感じさせる商品を取り揃える予定です。また、周りの芝生で迎賓館を眺めながら過ごせるように、ピクニックランチの販売もいたします。

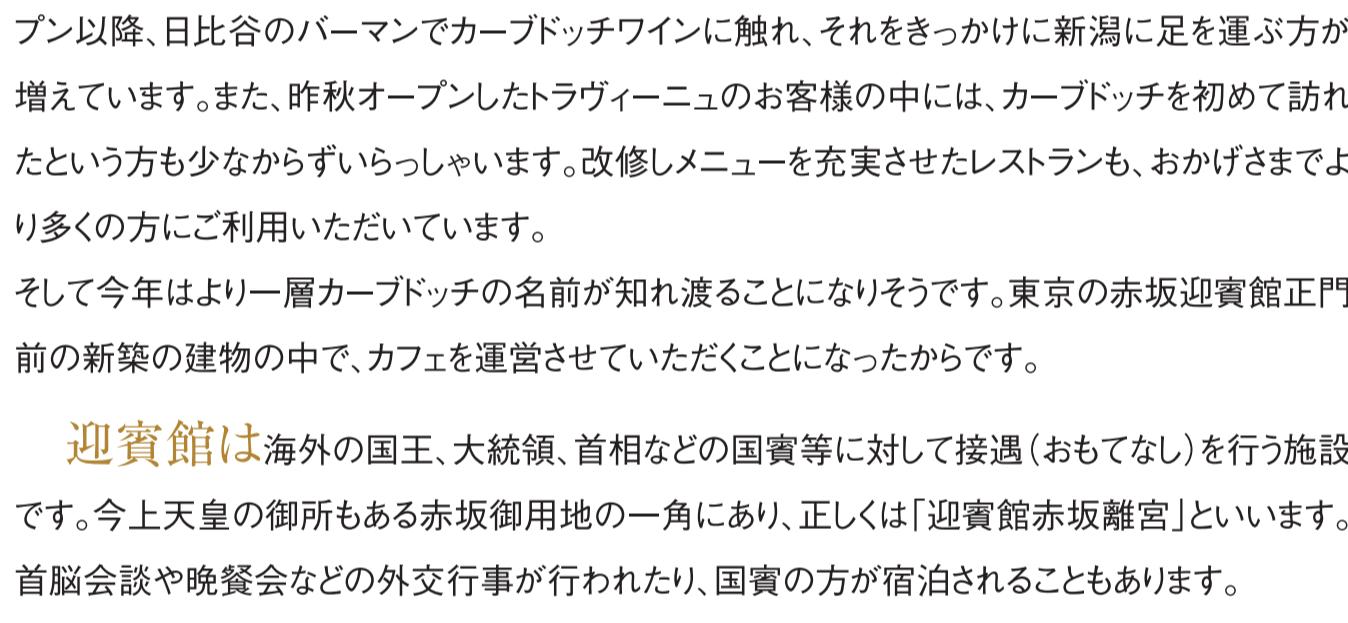
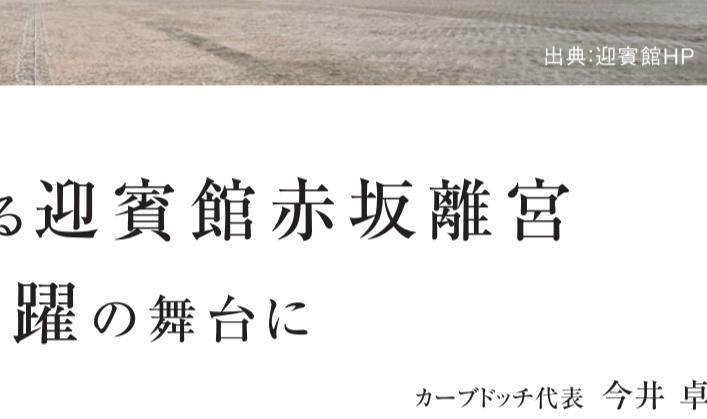
迎賓館赤坂離宮の情報

休館日 | 毎週水曜日
住所 | 東京都港区元赤坂2丁目1-1
最寄駅 | JR四ツ谷駅／東京メトロ四ツ谷駅
公式サイト | <https://www.geihinkan.go.jp/akasaka/>

検索 迎賓館 ←

カーブドッヂ迎賓館の営業時間

定休日 | 毎週水曜日
【カフェ】
■ Tea／9:00～17:00
■ Lunch／11:00～15:00
【ギフトショップ】
■ 9:00～17:00



出典:迎賓館HP

風格と気品溢れる迎賓館赤坂離宮

更なる飛躍の舞台に

カーブドッヂ代表 今井 卓

一昨年の春、カーブドッヂにとって初めての直営店「バーマン」を東京に出しました。オープン以降、日比谷のバーマンでカーブドッヂワインに触れ、それをきっかけに新潟に足を運ぶ方が増えています。また、昨秋オープンしたトラヴィーニュのお客様の中には、カーブドッヂを初めて訪れたという方も少なからずいらっしゃいます。改修しメニューを充実させたレストランも、おかげさまでより多くの方にご利用いただいています。

そして今年はより一層カーブドッヂの名前が知れ渡ることになりそうです。東京の赤坂迎賓館正門前の新築の建物の中で、カフェを運営させていただくことになったからです。

迎賓館は海外の国王、大統領、首相などの国賓等に対して接遇（おもてなし）を行う施設です。今上天皇の御所もある赤坂御用地の一隅にあり、正しくは「迎賓館赤坂離宮」といいます。首脳会談や晩餐会などの外交行事が行われたり、国賓の方が宿泊されることもあります。

ネオ・バロック様式の重厚で壮大な建築の迎賓館赤坂離宮、その歴史は明治42年に東宮御所として建設されたところから始まります。当時の皇太子のお住まいとして建てられたのですが、宮廷建築の第一人者だった片山東熊の設計が豪華すぎたようで、実際に住居として使われることは少なく、離宮や仮御所として利用されました。第二次世界大戦後になると建物と敷地の管理は皇室から國に移り、国立国会図書館や東京五輪の組織委員会庁舎として使用されました。そして、国際社会との関係が活発になる中で外国からの賓客を迎える機会が増え、国としての迎賓施設の必要性が高まり、赤坂離宮は大規模改修を施され1974年に迎賓館として開館したのです。2009年には本館などが国宝の指定を受けています。

2016年から通年で一般公開されており、原則水曜の休館日と接遇による非公開日を除いて事前予約なしで参観ができます（和風別館除く）。私もこの白亜の宮殿を見学しましたが、どの部屋も日常からかけ離れた豪華絢爛な装飾に彩られています。洋風建築の随所には日本的なモチーフや七宝焼きなども施され、和と洋が融合した空間は日本の迎賓施設にふさわしいものでした。

今年、2020年の日本は、今まで一番多くの外国人を迎えることになります。そんな時に自分の住んでいる国の文化や歴史を見つめ直すことは、違ったバックボーンを持つお客様との相互理解に役立つのではないでしょうか。



出典:迎賓館HP



出典:迎賓館HP